

大会の参加に当たって

- (1) 各所属の学校から移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。
提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。
- (5) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが会話を控えること。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (6) 管理者・付添者は、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (7) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2m以上）をとって行動すること。
- (8) レース終了後は、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (9) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (10) 食事は、スタンド観客席で取ること。人との距離を2m以上保ち単独で取ること。
- (11) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (12) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ チームで共用するストレッチマット、チューブ、バランスボール等の運動用具（いずれも、個人専用は持ち込み可）
 - ・ メガホンおよびエアホーン等の鳴り物、横断幕（各校1枚の部旗は認める）、のぼり
 - ・ 練習時のパドル・コード類
 - ・ ガウン

第 97 回日本学生選手権水泳競技大会〔競泳競技〕 二次要項

公益財団法人 日本水泳連盟
 競技委員長 鈴木 浩二
 実行委員長 八塚 明憲

1 日 程

月 日	日程	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
10 月 7 日 (木)	1 日目	11 : 00	15 : 15	15 : 40	17 : 30	17 : 41	19 : 10
10 月 8 日 (金)	2 日目	7 : 30	10 : 00	13 : 17	16 : 00	17 : 37	19 : 10
10 月 9 日 (土)	3 日目	7 : 30	10 : 00	13 : 48	16 : 00	17 : 58	19 : 00
10 月 10 日 (日)	4 日目	7 : 30	10 : 00	13 : 46	16 : 00	17 : 51	18 : 50

※ 予選終了予定時間は参加申込種目数が昨年度と同等数の場合。(組数が確定次第、時間を更新する)

※ 1 日目予選競技開始前 15 : 00 から開会式を行う。

※ 4 日目決勝競技終了後、直ちに閉会式を行う。

2 入館時間・練習について

- (1) 本大会は無観客とする。ADカードを持っている選手・管理者・付添者以外は入館できない。
 なお、会場内プールで練習できる時間帯は、(4)の通りに指定する。
- (2) ADカードは本大会専用で、付添者を含めた入館者全員に氏名・顔写真入りのものを発行する。
 以下の枚数を上限に、事前申請すること。
 - ① 管理者は 1 校につき最大 2 名とする。
 ※管理者として申請できる者は、出場チームの部長、監督、コーチに限る。学生をはじめその他の者が申請することはできない。
 - ② 付添者は出場制限後の選手(個人種目出場者・リレー選手・リレー交代要員の合計)数に応じた人数(選手 10 人につき 1 人)を申請できる。日替わりで入場者を申請できるが、事前申請の入場日以外では、入場できない。
- (3) 入館時間は、以下の通りとする。
 - ① 1 日目は、会場に到着したチームから随時、入館できる。
 - ② 2 日目以降の朝 7 : 30 の開門は、当日の個人種目に出場する選手と、その管理者・付添者が入館できる。次に、8 : 00 より当日のリレー種目に出場する選手(リレー交代要員含む)と、その管理者・付添者が入館できる。それ以外の選手・管理者・付添者は、9 : 30 以降に入館できる。
- (4) 会場内のプールで練習できる時間帯は以下の通りとする(別表も参照のこと)。プールへ向かう動線は更衣室の 1 階レストラン側出入口に限り、ADコントロールを行う。
 - ① 1 日目
 - 1) 予選競技前は 50m 自由形および翌日(2 日目)の予選競技に出場する選手(リレー交代要員含む：以下同じ)が練習できる。なお、翌日出場者の練習は、決勝競技終了までとする。
 - 2) 予選競技終了後のメインプールは、50m 自由形決勝出場者専用レーンを設ける。
 - 3) 決勝競技終了後、メインプールとサブプールで翌々日以降(3・4 日目)の予選競技に出場する選手が練習できる。なお、決勝競技終了から 1 時間 30 分後を閉館時間とする。ダイビングプールは、当日決勝競技出場者のダウン専用とする。
 - ② 2 日目以降
 - 1) 朝は当日の予選競技に出場する選手が練習できる。また、メインプールは、出場種目ごとに利用できる時間帯を指定する。
 - 2) 昼休みのメインプールは、当日決勝競技出場者のみが練習できる。
 - 3) 予選競技終了 1 時間後～決勝競技終了まで、サブプールで翌日の予選競技に出場する選手が練習できる。
 - 4) 決勝競技終了後、メインプールで翌々日の予選競技に出場する選手が練習できる。なお、決勝競技終了から 1 時間 30 分後を閉館時間とする。サブプールとダイビングプールは、当日決勝競技出場者のダウン専用とする。3 日目以降は、決勝競技終了から 1 時間後を閉館時間とする。

(5)「健康チェック表」の提出について

- ① 参加者は、入館2週間前から毎日体温を測定すること。
- ② 日水連ホームページからダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。
- ③ 「健康チェック表」は、入場日ごとに提出し、返却しない。
(最大で4枚準備し、必要に応じて記載内容を写真などで記録しておくこと)

3 監督者会議

10月6日(水)17:00より、オンライン(Zoom)にて行う。

4 館の使用について

- (1) 控え場所は、メインプール観客席のみが利用できる。
- (2) 館内、水泳場敷地内においての場所取りは全て禁止とする。但し、会場内の指定場所で、ストレッチ・ドライランド等を行えるスペースを確保する。場所は、シード校、各支部団体出場校、個人出場校毎に事前指定する(詳細は監督者会議資料にて案内)。また、使用時には、各自で消毒等を行うこと。
- (3) 「大会の参加に当たって」の(12)に該当しない物であっても、新型コロナウイルス感染対策の観点から、持ち込みおよび使用は不適切と判断した物は、その使用を禁止する場合がある。
- (4) 館内での飲食は、水分補給を除き、スタンドのみ可とする。
- (5) 東京辰巳国際水泳場に隣接する有料駐車場は、100台のみ使用可能(乗用車に限る)。駐車場も館内と同様の扱いとする。敷地内や車内を控え場所として使用しないこと。
※オリンピック・パラリンピックからの原状復帰工事の進捗により駐車場が使用できない場合がある。

5 棄権の届出

- (1) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当日の開会式もしくは予選競技開始20分前(1日目は14:40、2日目以降は9:40)までにリゾリューションデスクに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、個人種目・リレー種目ともに棄権料3,000円、無断で棄権した場合は、罰金3,000円を徴収する。
事情により会場へ来場できない場合は、メールにて棄権の申告を行うことが出来る。
申告先メールアドレス: intercollege-entry@swim-g.net
- (2) 原則として、決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に、棄権料(3,000円)を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。
棄権申告後、上訴審判の裁定により棄権の受理された場合は、繰り上げ選手の決定を行う。

5 表彰・写真撮影

- (1) 各種目の優勝者(チーム)は、各競技終了後にフラッシュインタビューを行う。
- (2) 表彰式は行わない。ただし、上位3名については、フラッシュインタビュー後に、インタビューボードの前で写真撮影を行う。

6 テレビ放映およびインターネット配信

全ての競技について、テレビ放送またはYouTubeでのLIVE配信を予定する。

7 競技結果・学校対抗得点

競技結果・学校対抗得点を、下記の公式サイトで確認することができる。

- (1) S E I K O競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
- (2) 日本水泳連盟公認サイト「Results of Japan Swimming」(<https://result.swim.or.jp/>)
- (3) 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)
- (4) 学校対抗得点 速報サービス (<https://www.swim-g.net/intercollege/points/index.html>)

8 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

「大会の参加に当たって」の記載事項に加えて、「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」の内容を順守すること。

- ・入館者全員が原則来場72時間以内(正当な理由がある場合は最長1週間以内)のウイルス検査を実施できる体制を整えておくこと。
- ・不明点は早めに所属支部に問い合わせること。
- ・別途Q&Aを公開予定。

連絡事項

その他連絡事項は、随時ホームページにて公開します。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の情勢により「追加の参加制限を検討する」など、競技情報を更新する場合がありますので、随時ホームページを確認してください。